

## Lesson 17

A 複合形容詞は2つ以上の単語をもとに作られたものがある。多くのものは“一(ハイフン)”によって結ばれている。例：(skin-deep long-term)

しかし、1つの単語として書かれるものもある。(例：threadbare)

B 下にあげられる複合形容詞はストレスがはじめにくるものである。

- 1) 一つの単語として書かれるもの (例外もある)
- 2) 名詞+“-ing”で書かれるもの
- 3) 名詞+過去分詞で書かれるもの (例外もある)

C 次にあげられる複合形容詞はストレスが2つ目の単語にくるものである。

- 1) 名詞+形容詞 (例外もある)
- 2) 形容詞+名詞
- 3) 副詞または形容詞+過去分詞
- 4) 副詞または形容詞+“-ing”
- 5) “self”が先頭にくるもの

ストレスが2番目にくる複合形容詞はストレスシフトが起こることがある。

D 省略した形で書かれた単語はメインストレスが最後の文字につき、また2番目に大きいストレスがはじめにくる。またストレスシフトが起こることもある。

## Lesson 18

A ある複合語は3つの単語から成り立つものがある。これらは2つか3つの単語から成り立ち、はじめと2つ目の単語が“一(ハイフン)”によって結ばれるものもある。

B 多くの複合語は先頭の単語に2番目に大きいストレスを置き、最後の単語にメインストレスを置く。

複合語が2つから成り立つ時にはストレスが先頭にきていたものであっても、3つの単語の複合語となった時には先頭の単語に2番目に大きいストレスを置き、最後の単語にメインストレスを置く。

最後の単語を修飾する形の複合語もまた先頭の単語に2番目に大きいストレスを置き、最後の単語にメインストレスを置く。

数字が先頭につく場合もこの規則によって成り立っている。

C その他の三つの単語から成り立つ複合語は先頭の単語に2番目に大きいストレスを置き、2番目の単語にメインストレスを置く。

二つの単語から成り立つ複合語のストレスが二番目の単語にストレスを置く場合には、新たに三つの単語からなる複合語になった時でもストレスの場所は代わらない。

D 三つの単語から成り立つ複合語にははじめの単語にストレスを置くものがある。